授業実践

世界に目を向けて

学校所在府県：京都府
学 校 名：京都文教短期大学付属小学校
名　　前：挟間　理沙
実践教科：生活科

指導時数：４時間
対象学年：２年生
対象人数：40 人（１クラス）

1. 教師海外研修を通して感じたこと

実際に、現地の人々との出会いを通して、自分自身の世界や地域を見る視野を広げた上で、開発教育の実践に取り組みたいという思いでこの研修に参加した。

私にとって、この 10 日間は、学んだことや驚いたこと、感激したこと、今後も考えていきたいと思うことなどが数多く得られた研修であった。ネパールでの生活は、時に不便に感じることもあったが、それは無意識に日本での生活とネパールの生活を比べて考えてしまっていたからである。ネパールにはネパールの人々の暮らしがあり、文化がある。実際に、村でのホームステイを通して、ネパールの「衣・食・住」について学ぶことができ、すてきなホストファミリーと一緒に過ごせたことは、とても貴重な経験となった。加えて、ネパールで出会った人々がいつもやさしい眼差しで挨拶をしてくださったことも心に残っている。震災後の復旧や様々な課題があっても、人々のつながりが強い生活の中には、たくさんの幸せがあるように思えた。

また、この研修に一緒に参加することができた先生方の存在も大きく、たくさんの刺激を与えてもらった。日々の振り返りを通して、様々な視点や多くの気づきを共有することができ、自分の視野を広げることができた。この研修で出会ったすべての人々に感謝しながら、この研修で学んだことをこれからの生活に生かしていきたい。

2. カリキュラム

（1）実践の目的・背景

リオデジャネイロ オリンピック後の２学期。オリンピックの話題や運動会に向けての取り組みと関連させて、教室内に飾る万国旗をみんなで作ろうと子どもたちに提案した。その目的は以下の３つである。

1. 世界にはたくさんの国々があることに知り、世界の国々への関心を高める。
2. 本を使って調べる経験をする。
3. 一緒に本を見たり、調べたことを教え合ったりすることを通して、40 人で協力して１つのものを作り上げる。

この万国旗は、教室の側面や後方に掲示して、子どもたちが少しでも世界を身近に感じられる環境を作った上で、全４時間の授業を構想した。「世界の国々について知ることは楽しい」「もっと知りたい、調べてみたい」「自分の周りの人を大切にしたい」という子どもたちの思いが溢れるような授業を目指したい。実践者が五感を通して学んだネパールという国を、少しでも身近に感じてもらい、世界に目を向けるきっかけを与えたい。そして、文化の紹介だけでなく、実践者がネパールで出会った人々のやさしさやあたたかさを伝えながら、人と人とのつながりに気づき、自分の周りの人を大切にする心も伝えたい。このような思いをもち、子どもたちが楽しく学べるように、①子どもたちの気づきを広げながら授業を展開すること、②体操や歌など体験的な活動を入れること、③授業後の振り返りを次時につなげることを心がけて、実践を行った。

（2）授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
万国旗作り ＊世界にはたくさんの国々があることを知り、世界の国々への関心を高める。	●世界 196 ヵ国の国旗の塗り絵をする。 ●色は、本を使って調べる。 〈9 月 21 日～ 10 月 7 日〉 主に給食の配膳を待っている時間や食べた後の時間を使って色ぬりをした。	●国旗の塗り絵プリント ●『世界がわかる 国旗じてん』 ●『世界えじてん』
1 時限目 世界の国々・ 世界の挨拶 ＊世界の国々への関心を高める。 ＊世界のいろいろな挨拶に親しみ、挨拶をする時に大切にしたいことを考える。	●班ごとに世界地図を見て、国の場所や大きさ、国旗などについて気づいたことを発表し合う。 ●世界地図に載っている世界の挨拶の言葉や、『世界のこんにちは』の読み聞かせを通して、世界の挨拶について知る。 ●世界地図に載っている“笑顔は世界の共通語”という言葉から、普段の挨拶の仕方を振り返る。 ●ネパールの挨拶、日本からの飛行時間、日本との時差を知る。 ●本時の学習を振り返り、感想を交流する。	●クルタ ●世界地図 （JICA 地球ひろば） ●『世界のこんにちは』（絵本） ●時計 ●ワークシート
2 時限目 ネパールの学校 ＊ネパールの学校の様子を知り、自分たちの生活と似ているところや異なるところを見つける。	●書画カメラに国旗かるたを映して、国旗クイズをする。 ●ネパールの国旗に込められている意味を知る。 ●書画カメラに映した写真や教科書を見ながら、ネパールの学校の様子を知る。 ●ネパールの学校での避難訓練の映像を見る。 ●映像を見ながら、ネパールの子どもたちと一緒に防災体操をしたり、ネパール語で「花は咲く」を歌ったりする。 ●本時の学習を振り返り、感想を交流する。	●国旗かるた ●ネパールの国旗 ●世界地図 ●写真 ●DVD ●『MATHEMATICS Book 2』（教科書） ●「花は咲く」の歌詞を書いた模造紙 ●ワークシート
3 時限目 ネパールのくらし（1） ＊簡単なネパール語を知る。 ＊ネパールの音楽に親しむ。	●書画カメラに国旗かるたを映して、国旗クイズをする。 ●前時の学習を振り返りながら、もう一度、防災体操をする。 ●「エク ドゥイ ティン･･･」が何を意味しているのか、映像を見ながら考える。簡単なネパール語について知る。 ●書画カメラに映した教科書を見ながら、ネパール語の数字や遊びなどを知る。 ●映像を見ながら、ネパールの音楽を楽しむ。 ●映像に映っている日本人の姿から、青年海外協力隊について知る。 ●本時の学習を振り返り、感想を交流する。	●国旗かるた ●『My Science, Health And Physical Education Book 2』（教科書） ●『All in One』（教科書） ●DVD ●ワークシート
4 時限目 ネパールのくらし（2） ＊ネパールの生活の様子を知り、自分たちの生活と似ているところや異なるところを見つける。	●書画カメラに国旗かるたを映して、国旗クイズをする。 ●前時の学習を振り返りながら、みんなで「レッサムフィリリ」を歌う。 ●書画カメラに映した写真を見ながら、ネパールの生活について知る。 ●これまでの学習を振り返り、感想を交流する。	●国旗かるた ●写真 ●ネパールから持ち帰ったもの ●ワークシート

3. 授業の詳細

1 時限目：世界の国々・世界の挨拶

ねらい…世界の国々への関心を高める。
世界のいろいろな挨拶に親しみ、挨拶をする時に大切にしたいことを考える。

みんなで作った万国旗（教室の側面）

◆内容◆

① 班ごとに世界地図を見て、以下の国を探す。
・万国旗作りで、自分が担当した国
・『お手紙』の作者、アーノルド＝ローベルさんの国
・『昆虫記』をまとめた、ファーブルさんの国

② 世界地図を見て、気づいたことを発表し合う。
〈国の大きさや形〉〈国旗〉〈挨拶の言葉〉

③ 世界地図に載っている挨拶の言葉や、『世界のこんにちは』の読み聞かせを通して、世界の挨拶について知る。

④ 世界地図に載っている“笑顔は世界の共通語”という言葉から、普段の挨拶の仕方を振り返り、挨拶をする時に大事にしたいことを考える。

⑤ 世界地図に載っている笑顔のネパールの女性に焦点を当て、ネパールの挨拶の仕方や日本からの飛行時間、日本との時差を知る。

⑥ 本時の学習を振り返り、感想を交流する。

みんなで作った万国旗（教室の後方）

じっくりと世界地図を見る子どもたち

ココがポイント

世界地図を広げて、世界に目を向けて学習している中で、これまでに学んだことを活用して、学習を進めた。（国語で学習した『お手紙』の作者や、月かげ〈道徳〉で学習した『ファーブル昆虫記』、算数の「時計（時刻と時間）」など。）

また、世界の挨拶を学ぶ過程では、人々が笑顔で挨拶をしている姿に注目して、普段の自分の挨拶の仕方を振り返る機会をもった。

気がついたことを発表する子どもたち

児童の感想(ワークシートより)

- 地きゅうには、いろいろな国があることを学びました。
- ぼくは、この国きをぜんぶおぼえたいです。
- １番大きい国はロシアで､２番目に大きい国はどこか知りたいです。
- 朝は､「みんな今日も１日がんばろう」という心であいさつをしたいです。
- ほかの国の時さも、もっと知りたいです。

◆所感◆　班ごとに世界地図を見ながら、子どもたちは〈国の大きさや形〉〈国旗〉〈挨拶の言葉〉について気づいたことを積極的に発言していた。国旗については、「パラオと日本の国旗が似ている」という発言の後に、「バングラデシュと日本の国旗も似ている」という発言があり、その後、「よく見ると、パラオとバングラデシュの国旗にある丸は、真ん中ではなくてちょっと左に寄っている」という気づきがあった。私が予想していた以上に､子どもたちは､細かいところまでよく見て､その気づきをみんなに広げようとしていた。

自分の挨拶の仕方を振り返る場面では、挨拶をする時に大事にしたいこととして、「笑顔でにっこり、明るい声で挨拶をする」「相手の目を見て挨拶をする」「今日もいっしょにがんばろう、一緒に過ごすことができてうれしい気持ちを伝える挨拶をする」など、子ども達から出た意見をまとめた。今後も、世界に目を向けながら、学んだことや気づいたことを自分たちの生活の中で生かしていけるようにしたい。

２時限目：ネパールの学校

ねらい…ネパールの学校の様子を知り、自分たちの生活と似ているところや異なるところを見つける。

◆内容◆

① 国旗クイズをする。
② ネパールの国旗に込められている意味を知る。
③ 写真や教科書を見ながら、ネパールの学校の様子を知る。
〈校舎や教室の様子〉〈教科書の内容〉〈避難訓練の様子〉
④ 映像を見ながら、ネパールの子どもたちと一緒に防災体操をしたり、ネパール語で「花は咲く」を歌ったりする。
⑤ 本時の学習を振り返り、感想を交流する。

これは何でしょう？

何をしている場面でしょう？

防災体操をする子どもたち

ココがポイント

教科書は、子どもたちと同じ２年生が使っているものを紹介した。また、写真を見せる際には、「ここはどこでしょう？」「これは何でしょう？」「何をしている場面でしょう？」などと予想を聞きながら、学習を進めた。

児童の反応

▶防災体操をする際、自分の席を離れてスクリーンの前まで出てくる児童が多かった。映像に、実践者も少し映っていたので、そのことに驚いている児童もいた。ネパールの子どもたちと一緒に体操をしている気持ちで、楽しんで体操をする姿が見られた。

児童の感想（ワークシートより）

▶ ネパールの算数の教科書がえい語で書かれていて、びっくりしました。ネパール語の教科書も見てみたいです。ネパールのひなんくんれんは、リュックサックで頭をまもっていたので、びっくりしました。「花はさく」をネパール語で歌ったのが楽しかったです。
▶ さいしょに見た教室にとてもおどろきました。それに、ビデオを見て、ネパールの人をはじめて見ることができて、とってもうれしかったです。
▶ あそび場には、ブランコしかなかったけれど、ちゃんとじゅん番をまもってあそんでいたのがすごいなぁと思いました。

◆所感◆　ネパールの学校の様子を知り、自分たちの学校とは異なる校舎の造りや教室内の様子に驚いていた。また、九九のプリントを見て、✓の印が○を表していることにも驚いていた。いろいろなちがいに驚きながらも、算数の教科書を見た時には、「あっ、かけ算や。」「筆算もある！」「（１学期に）やった、やった。」などと同じ部分を見つけることができた。また、楽しそうに防災体操をしたり、「花は咲く」の歌を歌ったりする姿から、活動を入れながら学習を展開していく必要性を感じた。

３時限目：ネパールのくらし（１）

ねらい…簡単なネパール語を知る。
ネパールの音楽に親しむ。

第２時・第３時で用いた教科書

◆内容◆

① 国旗クイズをする。
② 前時の学習を振り返りながら、もう一度、防災体操を行い、体操に込められている意味（頭を守ること・落ち着いて行動すること）を確認する。
③ 黒板に書かれた「エク ドゥイ ティン ･･･ ダス」が何を意味しているのか､映像を見ながら考える。
④ ワークシートを見ながら、自己紹介や数の数え方など簡単なネパール語を話す。
⑤ 書画カメラに映した教科書を見ながら、ネパール語の数字や遊びなどを知る。
⑥ 映像を見ながら、ネパールの音楽を楽しむ。映像に映っている日本人の姿から、青年海外協力隊について知る。
⑦ 本時の学習を振り返り、感想を交流する。

ココがポイント

防災体操をする前に“エク ドゥイ ティン チャール”と言っているところを子どもたちが見つけられるように、映像を部分的に見せた。また、ネパールの音楽を奏でる人々の中に日本人がいることに気づかせ、様々な分野で活躍されている青年海外協力隊の説明をした。写真や映像は、ただ見せるだけにならないように、子どもたちの気づきを広げながら、学習を展開していくことを心がけた。

児童の感想(ワークシートより)

- ネパールの数字は、１が９みたいになっていることにおどろきました。
- ネパールにこんな楽しい歌があることをはじめて知って、わたしも楽しくなってきました。
- 音楽の音がきれいで、ネパールのことをもっと知りたくなりました。「レッサム フィリリ！」と歌ったところもおもしろかったです。
- ネパールにこんな歌や楽きがあったんだなぁと思いました。あと、日本の人もいるんだなぁと思いました。

◆所感◆　前回の授業で、算数以外の教科書も見てみたいという声があったので、またちがう教科の教科書を紹介しながら、学習を進めた。英語やネパール語で書かれた教科書であっても、絵や図からその内容を予想しやすいページがたくさんあった。

学習後の振り返りでは、多くの児童がネパールの音楽について書いていた。「レッサム フィリリ」は、前時に見た映像で、ネパールの子どもたちが教室で歌っていたこともあり、多くの児童がすぐにメロディーを覚えて、口ずさんでいた。ネパールの音楽を身近に感じて、楽しそうに歌う子どもたちの姿を嬉しく思った。

４時限目：ネパールのくらし（２）

ねらい…ネパールの生活の様子を知り、自分たちの生活と似ているところや異なるところを見つける。

ネパールで買ったもの・持ち帰ってきたもの

◆内容◆

① 国旗クイズをする。
② 前時の学習を振り返りながら､みんなで「レッサム フィリリ」を歌う。
③ 書画カメラに映した写真を見ながら、ネパールの生活について知る。
〈ホームステイ先での生活〉〈食べ物〉〈お店の様子〉〈交通の様子〉
④ これまでの学習を振り返り、感想を交流する。

ココがポイント

「何をしているところでしょう？」「何を売っているお店でしょう？」など、クイズを出して楽しく考えられるようにした。

また、ネパールで買ったものや持ち帰ってきたものなど、実物を見せながら、学習を進めた。モノだけでなく、写真を見せながら、私が現地で出会った人にも焦点を当てて、人々のあたたかい眼差しややさしさについて語った。

児童の感想(ワークシートより)

- ▶日本とちがって、ネパールは、水や電気が自由につかえないことが分かりました。今、学校でつかっている水や、お家でつかっている水にかんしゃして、水や電気をつかいます。
- ▶ネパールのあいさつは、日本とぜんぜんちがうことにおどろきました。あと、お店に売っていたものも、日本とぜんぜんちがうことにおどろきました。ネパールのことをいっぱい知ることができたので、つぎは、ぼくもネパールに行ってみたいなぁと思いました。

◆所感◆　ネパールで買ったもの・持ち帰ってきたものは、授業後に手にとって見ている児童が多かった。実物があることで、ネパールの生活がイメージしやすく、関心を高めることにつながったと思う。写真については、何をどんな順番で見せるか、子どもたちの発見・気づきを予想しながら、次の展開や活動につながるように提示する大切さを改めて感じた。

4. 成果

全４時間の授業の中で、子どもたちは「挨拶」「言葉」「遊び」「食べ物」「音楽」「衣服」「学校の様子」「お家の様子」「お店の様子」「交通の様子」など、様々な視点からネパールに興味をもって学習に取り組んでいた。授業後の休み時間には、覚えたネパール語を話したり、歌を楽しそうに口ずさんだりする姿も見られた。また、世界の国旗が載っている本や、ネパールの遊びについて書かれた本、ネパールの昔話（絵本）をお家から持って来て、みんなに紹介してくれた児童もいた。ネパールの遊び（おにごっこ）も、授業後にみんなで体験した。「もっと知りたい！」「クラスのみんなに本を紹介したい！」という子どもたちの思いを嬉しく感じた。授業後の子どもたちの姿から、ネパールに対する興味・関心や一定の理解を高めることができたと感じている。

5. 課題

今後の課題は、この実践が単発的なもので終わらないようにすることである。そのために、子どもたちが世界を身近に感じられるような環境を作りたいと考えている。具体的には、日々の学校生活の中で、国際理解につながる話をしたり、資料を掲示したりすることである。また、教科の学習を行う中で、開発教育や国際教育との関連についても考えていきたい。３学期は、国語で『スーホの白い馬』という物語を学習する。その学習の中で、物語の舞台となったモンゴルについて、理解を深める学習を計画している。今回のネパールの学習を通して得た様々な視点を活用しながら、子どもたちがモンゴルについて調べ学習をした上で、ゲストティチャーを招いて、現地のお話を聞きたいと考えている。

開発教育に限ったことではないが、本時のねらいを明確にして、子どもたちの実態に合わせた教材の作成や視覚的に分かりやすくするための工夫など、今後も自分の授業力を高める努力をしていきたい。

参考文献

・深見 公子『世界がわかる 国旗じてん』 成美堂出版 2016 年
・吹浦 忠正『世界えじてん』 パイ インターナショナル 2015 年
・新井 洋行『せかいのこんにちは －みんなであいさつ－』幻冬舎エデュケーション 2010 年
・高橋 晴子『民族衣装絵事典 －装いの文化をたずねてみよう－』 PHP 研究所 2006 年
・野津 治仁『旅の指さし会話帳 ネパール』 情報センター出版局 2002 年
・大橋 圭子『タビトモ会話 ネパール』JTB パブリッシング 2009 年
・中山 京子『楽しく遊ぶ学ぶ せかいの図鑑』小学館 2016 年
・馬場 桂一郎『続 世界の子どもの遊び事典』明治図書 2005 年
・大塚 勇三 再話　秋野 亥左牟 画『プンク マインチャ』福音館書店 1992 年
・稲村 哲也 / 結城 史隆 再話　イシュワリ・カルマチャリャ 絵
『あくまのおよめさん －ネパールの民話－』福音館書店 1997 年